

知性、熱量、若さ。

# 大石宗



を  
紹介  
します  
さ  
し  
ょう  
し

おおいし しゅう



大石さんは政治家になろうと24歳で神戸製鋼所を退職し26歳で高知県議会議員になりました

大石 宗



今回は大石宗さんを紹介させて下さい!

皆さん 皆さん 四万十町出身のサヤです 高知大に通ってます



今、そんな大石さんの新たな挑戦が始まろうとしています

その道のりは山あり谷あり支えてくれる周りの人たちのおかげでくじけず前へ進んできました



24歳のときから20年間政治一筋にかけ続けてきたのが大石さんです

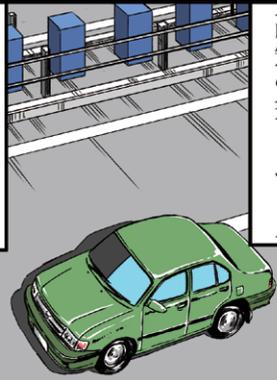
でも順風満帆ではありません 衆議院議員選挙に落ちて浪人生活が7年近く続いたこともありました

## 大石宗さんのプロフィール

- 1980 (昭和55) 年9月11日高知市越前町で生まれる
- 小高坂小学校、高知学芸中高、日本大学法学部卒
- 株式会社神戸製鋼所に入社。24歳で退職し地元・高知へUターン
- 26歳で高知県議会議員(高知市選挙区)
- 衆院選に3度挑戦し落選、7年間の浪人生活
- 38歳で県議会復帰(無所属)、県政史上最多得票
- 2025年2月自由民主党参院選徳島高知選挙区支部長

日本の  
未来を担う  
高知の若きエース

大石宗さんの  
物語です



2005年  
8月の終わり  
高知道を高知に  
向かう小型車が  
あった

大石宗  
24歳



政治家に  
なるために  
神戸製鋼を  
辞めたが…

希望と不安が  
入り混じって  
涙が止まらない

1987年  
高知市

先生！  
大石君が今日も  
ドッチボールを  
しませんでした

あらっ  
大石君ったら  
今日も読書？



小学校2年のとき  
剣道を始めた

内気で本ばかり  
読んでいた少年に  
少しばかりの  
自信を与えた

両親は土佐打刃物や  
園芸用品などを卸す  
会社を経営していた

経営の苦労を  
間近で見ていた







ひたすら歩き語って  
高知県議会議員に当選  
26歳だった



産業振興  
計画を作ろうと  
思うんですが  
ぜひ!  
やりましょう

尾崎正直

大石宗

桑名龍吾

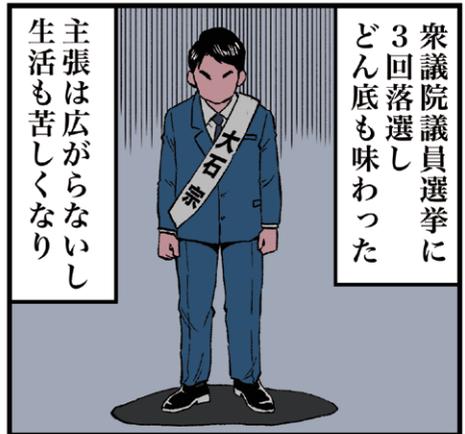
高知県知事 尾崎正直



今日は西、明日は東  
県議選の選挙区は  
高知市だったが  
県内全域を駆け回る  
波が結構  
ありますね

特に一次産業と  
教育現場には  
熱心に足を運ぶ  
こんなん  
波のうち  
に入らんぜ

土佐清水沖





大石さんは一緒に  
県政を支えてくれた  
仲間です  
私は大石さんを高知の  
切り札だと思ってます

あ！  
衆議院議員の  
尾崎正直さん



私にも一言  
言わせて下さい

防衛大臣の  
中谷元さん！



大石さんの  
素晴らしいところは  
しっかりとした  
政策を持った上で  
住民と向き合って  
対話を続けている  
ところですよ

性格も明るく  
皆に元気を与えています  
二度戦った私が実力も  
人柄も保証します



2025年1月  
大石さんは自民党から  
新たな挑戦を決意！



大石さんって  
私が思っていた  
以上にすごい  
ことを知りました

これ大石さんが書いた  
『思宗紀』。  
五百四十六ページも  
ある分厚い本です

歴史を紐解き今の政治を  
論じた素晴らしい本！  
ごく短時間で書かれた  
そうです

**大石宗  
公式HP**  
(ホームページ)



YouTube(動画)  
Podcast(インターネットラジオ)  
Facebook、Instagram、  
X(旧Twitter)を発信中！

**大石宗  
公式LINE**



ラインでも政策や日々の動き  
などを発信しています。  
登録よろしくお願ひします。



大石宗さんの近著は  
『「ふるさと」という希望』  
です。百ページほどの小  
冊子で、税込み500円。  
Amazonなどでデジタル  
版も購入できます。  
ぜひお読みください。



『思宗紀』は  
尾崎行雄記念財団の  
罌堂ブックオブザイヤーを  
受賞しました

更に「地方」への想いを  
もう一冊の本に！  
彼の知性とバイタリティ  
にはいつも驚かされます

# ヒト・モノ・カネを 地方へ!!

## 日本列島大改造

～都市集中型から地方分散型国家への転換～

### 1 ヒト・モノ・カネを地方へ! 日本列島大改造

- 都市集中から地方分散、そして地方の自立を経済安保の中心に据える国家戦略の構築
- 政府関係機関や企業の本社機能の地方移転の推進
- 特定地域づくり事業協同組合や地域おこし協力隊、企業版ふるさと納税などの制度の活用・充実や移住政策の強化によって都市部から地方へのヒト・モノ・カネの移動を促進
- 地方国立大学の学部定員増や高校生の地方留学支援などによる大学・学生の地方分散の促進
- 強い地域産業の育成や行政の地元発注拡大による地域内経済循環の促進
- エネルギーや食料、雇用に関する地域内自給率の向上
- 農林水産業の担い手対策強化と六次産業化支援
- 地域産品の輸出支援の強化
- 地方中小企業の後継者対策と経営支援の強化
- 中山間対策の抜本的拡充
- 地域公共交通機関の充実
- 地域医療を支える医療機関への経営支援、医師不足対策をはじめ地域医療を守る諸政策の推進
- 地域DXの推進とローカルスタートアップ支援制度の強化
- 地域の伝統文化や歴史の保存
- 8の字ネットワークをはじめとする社会基盤の整備促進
- 南海トラフ地震対策をはじめとする防災対策の強化

### 2 政治改革の断行

- 健全な議会制民主主義の確立
- 政治資金の透明性の向上
- 国民の政治参加を促すための諸政策の推進

### 3 国際協調を基本とした 現実的外交・安全保障政策 の推進

- 日米同盟を中核としたインド太平洋における多国間安全保障協力の推進
- 国民保護に関する対処能力の向上
- 安保3文書に基づく防衛力の抜本的強化
- 外国人の土地取得規制の強化
- ウクライナやパレスチナなど紛争地域への人道支援の強化
- ソフトパワーの輸出等による文化外交の推進

### 4 疲弊した国民生活と 地方経済の建て直し

- 行き過ぎた円安と物価高の是正
- 持続可能な社会保障制度の確立
- 中小企業や医療機関の経営支援に関わるアフターコロナ対策の強化

### 5 未来への投資の拡大

- 妊娠出産に関する自己負担なしの仕組みの確立
- 就学前教育の充実と家庭の経済環境に左右されない教育機会の格差解消
- 不登校や引きこもりなど厳しい環境にある子供達へ寄り添う政策の強化
- 現役世代の可処分所得の向上
- 潜在成長率向上のための、働き方改革と設備投資拡大、技術革新の促進

# 大石宗さん3つの柱

## #都市集中から地方分散へ

## 暮らしに寄り添い、

## 未来の日本を作る

## 若き切り札、大石宗さん



**知性×熱量×実行力**

2023年、大石宗さんは自身の沿革や思いを高知の歴史と絡めた「思宗紀」を執筆しました。546頁の大著を実質2カ月で書き上げ、見事に尾崎行雄記念財団の罌堂ブックオブザイヤー2023年の大賞（地方自治体部門）を受賞しています。今年6月には「ふるさと」という希望」と題した新著を出しました。副題は「都市集中から地方分散へ。日本列島改造論2025」。地方という足場を確認し、日本の進むべき方向を明確かつ論理的に描いています。

**若さ×責任×実績**

大石宗さんは24歳で神戸製鋼所を辞めて帰高し、2007年4月、わずか26歳で高知県議会議員に当選しました。その7カ月後、全国最年少で40歳の高知県知事となったのが尾崎直直さんです。尾崎さんは「大石さんは昔から特別な存在感を放っていました！ささまざまな政策を一緒に議論し、実現してきました。彼は県政の王道を熟知しています！」と高く評価しています。県政与党の二員として、一貫して県政のど真ん中で王道を歩んできたのが大石さんです。

**思い×愚直×誠実**

20年前、大石宗さんは二大政党制の夢を抱いて民主党に身を投じました。政権を失った民主党が変化するのには2016年です。野党共闘が進む中、大石さんは「線を描いた活動を続けました。基本政策が違わず活動が続けました。基本政策が健全な二大政党制とはほど遠い」と。時流に乗らず、愚直にその主張を変えませんでした。安全保障など国の基本政策に関し、大石宗さんの主張は20年前から一貫しています。民主党（のち民進党）解党後に



思宗紀 (著・大石宗)



「ふるさと」という希望 (著・大石宗)



「県政巡業」は大石宗さんの専売特許。いろいろなスタイルで開いて県民との対話を続けています。

苦勞したからこそ、分かることがある

大石宗さんは24歳でUターンして以来、高知に根付いています。経営に四苦八苦する両親を見て育ち、長い浪人暮らしの中、バイトに汗しながら飲食店で働く奥さんと2人の幼子を育て……。コロナ禍、物価高、担い手不足など暮らしの苦勞を身をもって体験してきました。暮らしを守り、経済を立て直すため、皮膚感覚を持って活動しています！

無所属を続けてきた大石さんにとって、自らの基本政策と最も深い部分で一致した政党が、自民党でした。



討議資料